

九州産業大学における障がい学生に対する合理的配慮の実績について

1. 障がい学生支援の全体像

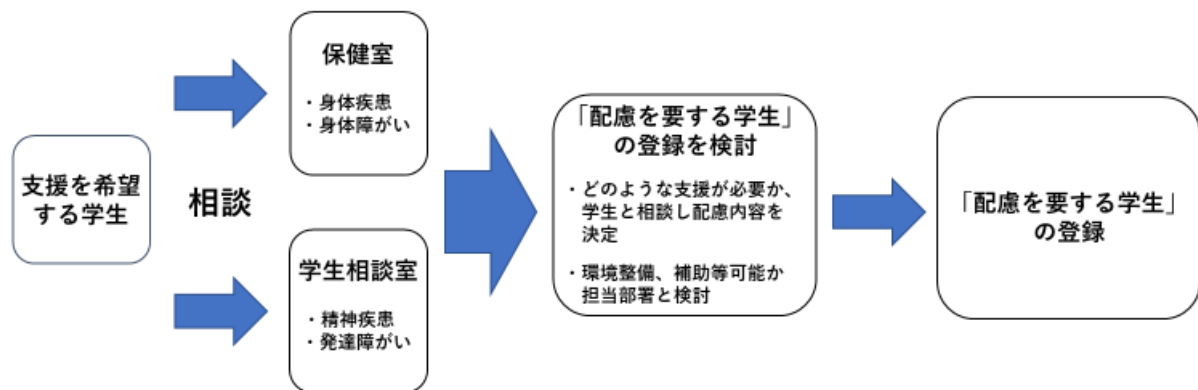
(1) 合理的配慮申請者数の推移(人)

年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
実人数	150	172	201

(2) 合理的配慮申請科目数の推移(科目)

科目の種類	2020 年度	2021 年度	2022 年度
基礎教育科目	758	602	1,057
専門科目	2,024	2,409	2,400
合計	2,782	3,011	3,457

2. 合理的配慮申請の流れ



3. 本学の合理的配慮の対応内容について

 <p>視覚障がい</p> <p>弱視などがあります。見える範囲が限られる視野障害や明るいところがまぶしく感じる光覚障害、色の認識が難しい色覚障害などあり、一人ひとりの見え方や光の感じ方は様々です。</p> <p>座席の配慮・教材拡大</p>	 <p>聴覚障がい</p> <p>補聴器等を使用しても通常の話声を解することが不可能、または著しく困難な聾や補聴器等を使用すれば通常の話声を解することができる難聴があります。発声や発語に関する機能障害もあります。</p> <p>ノートテイク・注意事項等の文書伝達</p>	 <p>肢体不自由</p> <p>身体の動きに関する器官が、病気やケガで損なわれ、日常生活動作に困難が伴う状態をいいます。上肢（腕や手指、肘関節など）や下肢（脚や膝関節など）体幹の機能の一部、または全部に障害がある場合があります。</p> <p>専用机やスペース等の確保・試験解答方法の配慮</p>
 <p>内部障がい</p> <p>心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸機能障害、膀胱直腸機能障害、小腸機能障害、肝臓機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害があります。</p> <p>途中退席の配慮・別室受験</p>	 <p>発達障がい</p> <p>自閉スペクトラム症や注意欠如多動性障害、限局性学習障害などがあります。落ち着きのなさやコミュニケーションの苦手さ、書字や読字の苦手さなど、それぞれの特性があります。</p> <p>録音撮影許可・注意事項等の視覚的な提示</p>	 <p>精神障がい</p> <p>気分障がい（うつ病、躁うつ病など）や不安障害、統合失調症などがあります。同じ病名でも症状や波が一人ひとり違うので、それぞれへの理解が大切です。</p> <p>座席の配慮・授業中の服薬許可</p>

※配慮内容については、学校医や学内カウンセラーとの面談を経て決定されます。